

ヒノキのストラップ

西川材である間伐材を活用した八角形のヒノキを使ってストラップを作りましょう。好きな絵や名前などを描いて、カバンやバックにつけてもいいですね。幼児から作れます。



対象	実施時期	定員	所要時間
3歳以上	通年	5~150人	1時間
利用者持ち物	プラザ貸し出し備品	材料	
なし	カラーペン・ゴミ入れバケツ	木片・紙やすり・飾りひも	

ねらい

- ・想像力や表現力を高める。
- ・西川材間伐材の活用。
- ・名栗の自然物を使った思い出の作品を作る。

実施の流れ

打ち合わせ・説明

- ◆開始 15 分前に、当所職員と団体代表者の打ち合わせを行います。
- ◆体験する子ども達、もしくは団体指導者の方に、作業台（丸太イス）を準備していただきます。
※1 作業台につき、1~3 名程度
- ◆その後、全体への説明は当所職員が行います。

以降は、団体で進行してください

準備（1 作業台 2~3 人程度）

- ① 作業台（丸太イス）を準備します。
 - ② 各自に木片・紙やすり・飾りひもを配布します。カラーペンは各グループで使えるように置きます。
- ※ 事前に団体で木片への穴あけ作業をしていただきます。道具、作業手順は職員が説明いたします。



実施

- ① 木片の両面を紙やすりを使って色がつきやすくなるように表面がつるつるになるまでみがきます。
- ③ つるつるになったら好きな絵や模様をカラーペンで両面に描きます。
- ④ 描き終わったら木片の穴に飾りひもを通して先を結びます。

※当所職員は、団体指導者の方と共に安全管理やアドバイスをさせていただきます。活動が落ち着いたタイミングで、当所職員は事務室へ戻ります。何か不明点などあれば、事務室へお声がけください。

片付け

- ① 道具の数を数えアルコール消毒をします。
- ② 道具類は最初にあった場所に戻します。
- ③ 使用した作業台を元あった場所に戻します。
- ④ 下に落ちた木くずやゴミを掃除します。ゴミは当所職員が用意したゴミ入れバケツにまとめてください。

⑤ 後片づけは全員で協力して行い、次の団体が気持ちよく活動できるようにしましょう。

※片付けが終了したタイミングで、使用した場所の確認、作成した個数の確認を、書面にて当所職員が行いますので、事務室へお声がけください。

まとめ

- 作品を披露しましょう。
- ふりかえり。

留意点

- 飾りひもは、汗などによって色落ちする場合がありますので、注意しましょう。

SDGs への取組

- 国産間伐材を使うことで、森の豊かさへの貢献ができます。
- 自分で作ったクラフトに愛着を持つことで、モノを大切にする気持ちを育めます。



以降当所職員向け事項

打ち合わせ

◆開始 15 分前に、当所職員と団体代表者の打ち合わせを行う。

- ・ 使用場所について
- ・ 道具の準備、片づけ、点検について
- ・ 安全上の注意について
- ・ 当所職員の指導（導入）の入り方について

説明

- ① 動機づけ
- ② 道具について
- ③ 作り方の説明
- ④ 安全上の注意（上記「留意点」参照）

指導のポイント・展開のアイデア

- ・ 木の形や手触り、においを楽しみながら作る。
- ・ 名栗の思い出を形にする。
- ・ 木の形や描いた模様もそれぞれ違うので、世界でひとつだけの“オリジナルストラップ”ができたことを話す。
- ・ 間伐材による森林活用から、SDGs に話を繋げる。

その他

- * ポスカと細マッキーは、それぞれ6人で1セットの割合、プラスやや多めに出す。また、描けなかったペン用の入れ物を出す。
- * 指導希望団体が重なる場合等、要望に添えない場合や、団体指導者をお願いすることがある。
- * 60人を超える場合は、2班に分けて実施したり、交代で実施したりする場合もある。
- * 所要時間は、目安である。実施年齢・人数によって変わる。